

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年1月14日
【四半期会計期間】	第50期第3四半期（自平成25年9月1日至平成25年11月30日）
【会社名】	株式会社リンガーハット
【英訳名】	RINGER HUT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 米濱 和英
【本店の所在の場所】	長崎県長崎市鍛冶屋町6番50号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。） 東京都品川区大崎一丁目6番1号TOC大崎ビル14階
【電話番号】	（03）5745-8611
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理グループ担当 小田 昌広
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎一丁目6番1号TOC大崎ビル14階
【電話番号】	（03）5745-8611
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理グループ担当 小田 昌広
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号） 株式会社リンガーハット本社 （東京都品川区大崎一丁目6番1号TOC大崎ビル14階）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第3四半期連結 累計期間	第50期 第3四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年3月1日 至平成24年11月30日	自平成25年3月1日 至平成25年11月30日	自平成24年3月1日 至平成25年2月28日
売上高(千円)	25,614,106	27,104,231	35,073,061
経常利益(千円)	367,273	858,303	1,233,163
四半期(当期)純利益(千円)	125,704	364,502	632,032
四半期包括利益又は包括利益(千円)	112,309	405,954	724,254
純資産額(千円)	9,698,924	9,814,493	10,310,816
総資産額(千円)	24,765,217	24,292,182	24,513,027
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	5.69	16.58	28.65
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.2	40.4	42.0

回次	第49期 第3四半期連結 会計期間	第50期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年9月1日 至平成24年11月30日	自平成25年9月1日 至平成25年11月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金額()(円)	1.15	2.25

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策推進を背景に、株式市場は好況が維持され、企業収益や個人消費に改善がみられるなど、景気は回復基調にあります。一方、消費税率の引き上げ決定による消費低迷の懸念等、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては、一部では個人消費の回復の動きも見られるものの、原材料価格の上昇や競合他社はもとより業種を超えた厳しい競争状態は依然として続いております。

このような環境下、当社グループは「全員参加で企業体質を改革しよう」のスローガンのもと、強固な企業体質づくりに取り組んでまいりました。

店舗の出店及び退店につきましては、当第3四半期連結累計期間中に「長崎ちゃんぼんリンガーハット」を28店舗出店し13店舗退店いたしました。「とんかつ浜勝」は2店舗出店し、2店舗退店いたしました。結果、当社グループ合計で平成25年11月末の店舗数は前期末より15店舗増加し、国内638店舗、海外9店舗の計647店舗となりました。(内直営473店舗、FC174店舗)

店舗売上高につきましては、リンガーハット、浜勝ともに季節商品やランチ商品の販売が好調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は102.8%となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,104百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は930百万円(同101.0%増)、経常利益は858百万円(同133.7%増)、四半期純利益は364百万円(同190.0%増)の増収増益となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぼん事業)

「長崎ちゃんぼんリンガーハット」では、国産野菜・国産小麦粉100%使用を前面に打ち出した販売促進や店舗立地タイプ別に様々な営業施策を講じ、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底に取り組み、客数増加を図ってまいりました。また、10月よりぎょうざの主要材料を100%国産化し、さらにおいしさと安心・安全にこだわってまいりました。

このような施策やメディアへの露出効果により、当第3四半期連結累計期間の既存店の対前年比は売上高101.8%、客数107.2%、客単価95.0%となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高20,227百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益468百万円(同89.9%増)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ浜勝(はまかつ)」では、ランチタイムを従来の15時までから17時までに延長した上でランチメニューを追加する等、客数増加策に注力いたしました。また100円でご注文できるお求めやすいサイドメニューや麦ごはんに発芽大麦と黒米を追加する等、お客さまのニーズに積極的に応えてまいりました。

このような施策が奏功し、当第3四半期連結累計期間の既存店の対前年比は売上高105.8%、客数110.1%、客単価96.0%となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,514百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益365百万円(同266.2%増)となりました。

(和食事業)

和食事業の「長崎卓袱浜勝(ながさきしっぽくはまかつ)」につきましては、長崎の郷土料理である卓袱料理を観光客はもちろんのこと長崎の地元の皆さまにも楽しんでいただけるように上質のおもてなしとともにお手ごろな価格で提供しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高151百万円(同0.7%増)、営業利益2百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業の「リンガーハット開発株式会社」につきましては、当社グループ店舗の設備メンテナンスや機器保全が主な事業であり、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,146百万円(前年同期比18.2%減)、営業利益89百万円(同25.0%減)となりました。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ220百万円減少し24,292百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少によるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ275百万円増加し14,477百万円となりました。これは主に未払費用の増加によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ496百万円減少し9,814百万円となりました。これは主に自己株式の取得によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、117百万円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	46,000,000
計	46,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,067,972	22,067,972	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	22,067,972	22,067,972		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日	-	22,067	-	5,066,122	-	2,079,391

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	
議決権制限株式(その他)	-	-	
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 10,600	-	
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,007,300	220,073	
単元未満株式	普通株式 50,072	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,067,972	-	
総株主の議決権	-	220,073	

(注)1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式84株が含まれております。

2. 当第3四半期会計期間において自己株式の取得を行ったため、平成25年11月30日現在の自己株式の総数は、510,951株(発行済株式総数に対する割合2.32%)であります。

【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社リンガーハット	長崎県長崎市鍛冶屋町6番50号	10,600	-	10,600	0.05
計		10,600	-	10,600	0.05

(注)当第3四半期会計期間において、取締役会決議に基づき自己株式を500,000株取得したこと等により、当第3四半期会計期間末における自己株式は510,951株となっております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	生産部担当	取締役	管理部担当	佐々野諸延	平成25年11月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,309,704	1,292,276
売掛金	402,151	532,848
商品及び製品	44,136	55,454
仕掛品	12,242	14,441
原材料及び貯蔵品	299,698	266,930
前払費用	420,543	264,389
未収入金	413,700	664,591
繰延税金資産	80,113	81,973
その他	98,322	150,671
流動資産合計	3,080,614	3,323,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,997,022	7,653,871
機械装置及び運搬具(純額)	811,941	788,448
土地	6,001,327	5,743,090
リース資産(純額)	298,079	263,367
建設仮勘定	16,101	253,749
その他(純額)	534,293	529,478
有形固定資産合計	15,658,765	15,232,007
無形固定資産	193,946	222,113
投資その他の資産		
投資有価証券	621,936	759,059
差入保証金	1,017,043	1,010,435
建設協力金	310,908	251,366
敷金	2,537,121	2,497,173
繰延税金資産	699,426	692,826
その他	415,869	326,228
貸倒引当金	22,605	22,605
投資その他の資産合計	5,579,701	5,514,484
固定資産合計	21,432,413	20,968,605
資産合計	24,513,027	24,292,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	630,129	820,232
短期借入金	2,494,000	2,396,000
1年内返済予定の長期借入金	1,473,696	1,951,876
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
未払金	460,727	542,452
未払費用	761,092	1,187,151
リース債務	82,917	84,383
未払法人税等	321,111	24,830
未払消費税等	138,543	161,929
繰延税金負債	1,608	1,608
株主優待引当金	65,739	52,560
店舗閉鎖損失引当金	52,858	22,917
資産除去債務	22,949	5,336
その他	250,227	394,319
流動負債合計	6,975,599	7,865,598
固定負債		
社債	480,000	330,000
長期借入金	3,765,738	3,234,086
長期未払金	420,978	420,083
リース債務	255,511	251,041
繰延税金負債	11,186	25,559
退職給付引当金	938,459	947,926
長期預り保証金	336,989	371,257
資産除去債務	992,907	1,015,467
その他	24,840	16,669
固定負債合計	7,226,612	6,612,090
負債合計	14,202,211	14,477,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,066,122	5,066,122
資本剰余金	4,427,356	4,427,356
利益剰余金	694,955	838,882
自己株式	11,162	706,845
株主資本合計	10,177,272	9,625,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,672	178,930
為替換算調整勘定	7,870	7,804
その他の包括利益累計額合計	133,543	186,735
少数株主持分	-	2,241
純資産合計	10,310,816	9,814,493
負債純資産合計	24,513,027	24,292,182

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	24,581,421	26,094,556
売上原価	8,361,010	8,701,337
売上総利益	16,220,411	17,393,219
その他の営業収入	1,032,685	1,009,674
営業総利益	17,253,096	18,402,894
販売費及び一般管理費	16,790,398	17,472,867
営業利益	462,697	930,027
営業外収益		
受取利息	6,584	4,954
受取配当金	4,667	5,301
保険解約返戻金	-	6,511
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	9,280
雇用促進奨励金	4,404	5,461
その他	14,824	10,575
営業外収益合計	30,480	42,086
営業外費用		
支払利息	93,017	82,423
社債発行費	2,817	-
持分法による投資損失	10,029	9,537
その他	20,040	21,849
営業外費用合計	125,904	113,810
経常利益	367,273	858,303
特別利益		
収用補償金	121,502	-
段階取得に係る差益	-	6,554
負ののれん発生益	-	891
特別利益合計	121,502	7,446
特別損失		
固定資産除却損	109,745	76,352
投資有価証券評価損	13,747	-
固定資産売却損	-	103,236
店舗閉鎖損失引当金繰入額	2,528	22,917
減損損失	11,121	52,793
本社移転費用	24,071	-
その他	2,426	1,467
特別損失合計	163,641	256,767
税金等調整前四半期純利益	325,134	608,982
法人税等	199,430	254,722
少数株主損益調整前四半期純利益	125,704	354,260
少数株主損失()	-	10,242
四半期純利益	125,704	364,502

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	125,704	354,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,545	53,257
為替換算調整勘定	-	1,590
持分法適用会社に対する持分相当額	5,848	3,154
その他の包括利益合計	13,394	51,694
四半期包括利益	112,309	405,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,309	417,694
少数株主に係る四半期包括利益	-	11,740

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
減価償却費	918,328千円	920,556千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月24日 定時株主総会	普通株式	110,290	5	平成24年2月29日	平成24年5月25日	利益剰余金
平成24年10月10日 取締役会	普通株式	110,289	5	平成24年8月31日	平成24年11月15日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月24日 定時株主総会	普通株式	110,289	5	平成25年2月28日	平成25年5月27日	利益剰余金
平成25年10月11日 取締役会	普通株式	110,286	5	平成25年8月31日	平成25年11月14日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

平成25年10月17日開催の取締役会において自己株式の取得を決議し、当第3四半期会計期間に次のとおり自己株式の取得を実施いたしました。

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した自己株式の総数	500,000株
取得価額の総額	694,500,000円
発行済株式総数に対する割合	2.27%

上記の自己株式の取得の結果、平成25年11月30日現在の自己株式の保有状況は次のとおりであります。

保有する自己株式の総数	510,951株
発行済株式総数に対する割合	2.32%

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	和食	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注)3							
外部顧客への売上高	18,839,685	6,252,062	150,834	371,523	25,614,106	-	25,614,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	105,101	31,661	-	1,030,595	1,167,358	1,167,358	-
計	18,944,787	6,283,724	150,834	1,402,119	26,781,465	1,167,358	25,614,106
セグメント利益又は損失()	246,568	99,711	4,987	119,477	460,770	1,926	462,697

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3.売上高にはその他の営業収入を含めております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	和食	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注)3							
外部顧客への売上高	20,227,412	6,514,646	151,958	210,215	27,104,231	-	27,104,231
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	936,731	936,731	936,731	-
計	20,227,412	6,514,646	151,958	1,146,946	28,040,963	936,731	27,104,231
セグメント利益	468,161	365,170	2,008	89,660	925,001	5,025	930,027

(注)1.セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3.売上高にはその他の営業収入を含めております。

2.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は18,004千円であります。

報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は34,789千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円69銭	16円58銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	125,704	364,502
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	125,704	364,502
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,057	21,977

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成25年10月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....110,286千円

(ロ) 1株当たりの金額.....5円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年11月14日

(注) 平成25年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月10日

株式会社 リンガーハット

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 行一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 堺 昌義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社リンガーハットの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社リンガーハット及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。